

令和 6 年度県立病院事業の実施状況について

令和 7 年 10 月 2 日
宮崎県病院局

I 令和6年度県立病院事業会計決算状況

(概要)

- 純損益は、19億6,153万円（対前年度+23億2,231万円）の赤字（3年連続）
- 経常損益は、19億6,153万円（対前年度+5億6,801万円）の赤字（3年連続）
- 償却前損益は、2億3,006万円（対前年度+4億8,027万円）の黒字（黒字転換）
- 一部未払金を除いた現金預金残高(運転資金)は、45億6,910万円（対前年度+21億97万円）
- 対収支計画では、純損益は2億2,382万円増加、償却前損益は1億7,722万円増加

（単位：千円）

区分	純損益 (経常損益も同額)	償却前損益	現金預金残高 (運転資金)	(一部未払金除く)
6年度収支計画	△ 2,185,352	52,839	4,535,530	4,535,530
6年度決算	△ 1,961,533	230,063	9,122,236	4,569,098
宮崎病院	△ 816,088	780,207	—	—
延岡病院	△ 14,990	358,239	—	—
日南病院	△ 1,130,455	△ 908,383	—	—
増減	223,819	177,224	4,586,706	33,568

I 令和6年度県立病院事業会計決算状況

1 収益的収支

純損益は、19億6,153万円の赤字（3年連続）

- ・ 旧宮崎病院の解体に伴う特別損失等がなくなり、純損益は改善
- ・ 入院・外来収益は対前年度11億8,165万円増加
- ・ 物価高騰や賃金の上昇により費用（給与費、材料費、経費）が対前年度22億1,177万円増加
- ・ 給与改定や物価高騰に伴う補正予算等により一般会計繰入金が対前年度15億8,315万円増加
- ・ 償却前損益は2億3,006万円の黒字（対前年度4億8,027万円増加）

(単位：千円、%)

区分	6年度	5年度	増減	増減率	説明
病院事業収益	40,642,011	38,159,376	2,482,634	6.5	
入院収益	23,403,918	22,897,963	505,955	2.2	【入院収益】 単価が減少したものの、患者数の増により増加
外来収益	9,157,317	8,481,628	675,690	8.0	【外来収益】 患者数が減少したものの、単価の増により増加
一般会計繰入金 (病床確保料)	5,553,935	3,970,784	1,583,150	39.9	【一般会計繰入金】 補正予算等により増加
長期前受金戻入	1,997,976	1,976,013	21,964	1.1	
その他収益	528,864	627,007	△ 98,144	△ 15.7	
特別利益	0	205,980	△ 205,980	皆減	
病院事業費用	42,603,544	42,443,219	160,325	0.4	
給与費	19,412,252	18,225,810	1,186,442	6.5	【給与費】 給与改定等により増加
材料費	10,835,086	10,036,759	798,327	8.0	【材料費】 高額医薬品の新規採用や使用増等により増加
経費	6,088,421	5,861,422	226,999	3.9	【経費】 システム、医療機器等の保守委託費増による増加
減価償却費	3,844,867	3,973,671	△ 128,805	△ 3.2	
その他費用	2,422,917	2,385,272	37,645	1.6	
特別損失	0	1,960,284	△ 1,960,284	皆減	
当年度純損益	△ 1,961,533	△ 4,283,842	2,322,309	－	
(経常損益)	△ 1,961,533	△ 2,529,539	568,006	－	
(経常損益) ※病床確保料除く	△ 1,961,533	△ 3,188,606	1,227,073	－	
(償却前損益)	230,063	△ 250,211	480,274	－	
資本的収支	2,860,099	△ 2,502,467	5,362,566	－	
資金収支	3,090,162	△ 2,752,678	5,842,839	－	

I 令和6年度県立病院事業会計決算状況

患者数は、延入院患者数30万6,074人、延外来患者数33万8,801人。延入院患者数については前年度から増加

- ・ 延入院患者数は宮崎病院と延岡病院で増加したものの、日南病院が減少
- ・ 延外来患者数は延岡病院で増加したものの、宮崎病院と日南病院で減少

(単位：人、%)

区分	6年度	5年度	増減	増減率
延入院患者数	306,074	297,652	8,422	2.8
宮崎病院	138,461	136,410	2,051	1.5
延岡病院	105,102	94,537	10,565	11.2
日南病院	62,511	66,705	△ 4,194	△ 6.3
延外来患者数	338,801	340,707	△ 1,906	△ 0.6
宮崎病院	154,170	155,904	△ 1,734	△ 1.1
延岡病院	107,605	101,297	6,308	6.2
日南病院	77,026	83,506	△ 6,480	△ 7.8

I 令和6年度県立病院事業会計決算状況

- ・ 宮崎病院は、8億1,609万円の赤字（4年連続）
- ・ 延岡病院は、1,499万円の赤字（2年連続）
- ・ 日南病院は、11億3,046万円の赤字（3年連続）

(単位：千円)

区分	宮崎病院	延岡病院	日南病院	事業合計
病院事業収益	19,993,417	14,507,409	6,141,185	40,642,011
入院収益	10,758,275	9,021,498	3,624,145	23,403,918
外来収益	5,004,727	2,948,972	1,203,619	9,157,317
一般会計繰入金	2,912,645	1,776,243	865,047	5,553,935
長期前受金戻入	988,424	636,749	372,803	1,997,976
その他収益	329,346	123,947	75,571	528,864
特別利益	0	0	0	0
病院事業費用	20,809,505	14,522,399	7,271,640	42,603,544
給与費	9,165,114	6,410,824	3,836,314	19,412,252
材料費	5,391,169	4,241,173	1,202,745	10,835,086
経費	2,686,292	2,093,481	1,308,649	6,088,421
減価償却費	2,348,410	940,419	556,038	3,844,867
その他費用	1,218,521	836,502	367,894	2,422,917
特別損失	0	0	0	0
当年度純損益	△ 816,088	△ 14,990	△ 1,130,455	△ 1,961,533
(経常損益)	△ 816,088	△ 14,990	△ 1,130,455	△ 1,961,533
(償却前損益)	780,207	358,239	△ 908,383	230,063
資本的収支	△ 1,129,502	△ 597,743	4,587,344	2,860,099
資金収支	△ 349,295	△ 239,504	3,678,960	3,090,162
6年度未処分利益剰余金 (△は未処理欠損金)	△ 6,580,809	5,735,418	△ 11,828,093	△ 12,673,484

I 令和6年度県立病院事業会計決算状況

2 資本的収支

収支差は、28億6,010万円の収入超過

- ・一般会計から50億円を借入
- ・電子カルテシステムの更新による企業債及び建設改良費の増

(単位：千円、%)

区分	6年度	5年度	増減	増減率	説明
資本的収入	15,625,410	5,671,013	9,954,397	175.5	【企業債】 電子カルテシステム更新による増加 【一般会計借入金】 一般会計からの借入による増加
	企業債	8,008,800	2,756,182	5,252,618	
	一般会計負担金	2,612,110	2,908,524	△ 296,414	
	一般会計借入金	5,000,000	0	5,000,000	
	補助金	0	6,307	△ 6,307	
	その他	4,500	0	4,500	
資本的支出	12,765,311	8,173,479	4,591,831	56.2	【改築整備費】 宮崎病院再整備に係る工事の出来高増による増加 【資産購入費】 電子カルテシステム更新による増加
	建設改良費	8,342,520	3,471,177	4,871,343	
	改築整備費	1,872,734	577,045	1,295,689	
	その他改良工事費	695,795	793,078	△ 97,283	
	資産購入費	5,643,362	1,892,232	3,751,130	
	医療器械購入費	923,799	1,303,031	△ 379,232	
	施設設備品購入費	1,271,583	501,639	769,944	
	無形固定資産購入費	3,447,981	87,562	3,360,419	
	リース資産購入費	130,629	208,822	△ 78,193	
	企業債償還金（元金）	4,415,140	4,693,302	△ 278,162	
投資	7,650	9,000	△ 1,350	△ 15.0	
収支差	2,860,099	△ 2,502,467	5,362,566	-	

I 令和6年度県立病院事業会計決算状況

3 比較貸借対照表

(単位:千円, %)

科 目	6年度	5年度	増 減	増減率
(資産の部)	固定資産	58,737,857	54,687,327	4,050,531
	有形固定資産	51,101,946	50,626,328	475,618
	土地	4,016,416	4,016,416	0
	建物	34,643,257	35,412,023	△ 768,766
	構築物	441,312	466,835	△ 25,524
	器械備品	8,417,394	8,207,904	209,490
	車輌	12,313	19,117	△ 6,804
	リース資産	1,039,716	1,144,645	△ 104,929
	建設仮勘定	2,531,538	1,359,386	1,172,151
	無形固定資産	3,250,620	171,316	3,079,305
	電話加入権	1,680	1,680	0
	その他無形固定資産	3,248,941	169,636	3,079,305
	投資その他の資産	4,385,291	3,889,683	495,608
	長期貸付金	35,550	36,000	△ 450
	長期前払消費税	4,349,241	3,853,183	496,058
	その他投資	500	500	0
	流動資産	21,263,551	19,065,741	2,197,810
	現金預金	9,122,236	2,468,126	6,654,110
	未収金	6,218,077	6,116,356	101,721
	うち医業未収金 (過年度個人負担分)	69,635	64,741	4,894
	貸倒引当金	△ 37,926	△ 37,926	0
	貯蔵品	499,047	254,516	244,531
	前払金	98,300	111,457	△ 13,157
	その他流動資産	5,363,817	10,153,212	△ 4,789,395
	緑延勘定	0	0	0
	開発費	0	0	0
資 産 合 計		80,001,409	73,753,068	6,248,341
				8.5

科 目	6年度	5年度	増 減	増減率
(負債の部)	固定負債	54,992,326	46,085,166	8,907,160
	企業債	44,339,561	40,665,450	3,674,111
	他会計借入金	5,000,000	0	5,000,000
	リース債務	932,491	1,029,442	△ 96,951
	引当金	4,720,274	4,390,274	330,000
	退職給付引当金	4,720,274	4,390,274	330,000
	流動負債	18,926,792	20,239,720	△ 1,312,929
	一時借入金	0	0	0
	企業債	4,334,689	4,415,140	△ 80,452
	他会計借入金	0	0	0
	リース債務	107,225	115,203	△ 7,978
	未払金	7,729,952	4,215,710	3,514,241
	引当金	1,368,997	1,272,543	96,454
	賞与引当金	1,173,734	1,081,336	92,398
	その他引当金	195,263	191,207	4,056
	その他流動負債	5,385,929	10,221,123	△ 4,835,194
	繰延収益	5,901,903	5,286,261	615,642
	長期前受金	48,504,327	46,076,849	2,427,477
	長期前受金収益化累計額	△ 42,602,423	△ 40,790,588	△ 1,811,835
負 債 合 計		79,821,021	71,611,147	8,209,874
(資本の部)	資本金	12,743,396	12,743,396	0
	資本金	12,743,396	12,743,396	0
	剰余金	△ 12,563,008	△ 10,601,475	△ 1,961,533
	資本剰余金	110,476	110,476	0
	利益剰余金	△ 12,673,484	△ 10,711,951	△ 1,961,533
	当年度未処分利益剰余金	△ 12,673,484	△ 10,711,951	△ 1,961,533
	資 本 合 計	180,388	2,141,921	△ 1,961,533
負 債・資 本 合 計		80,001,409	73,753,068	6,248,341
				8.5

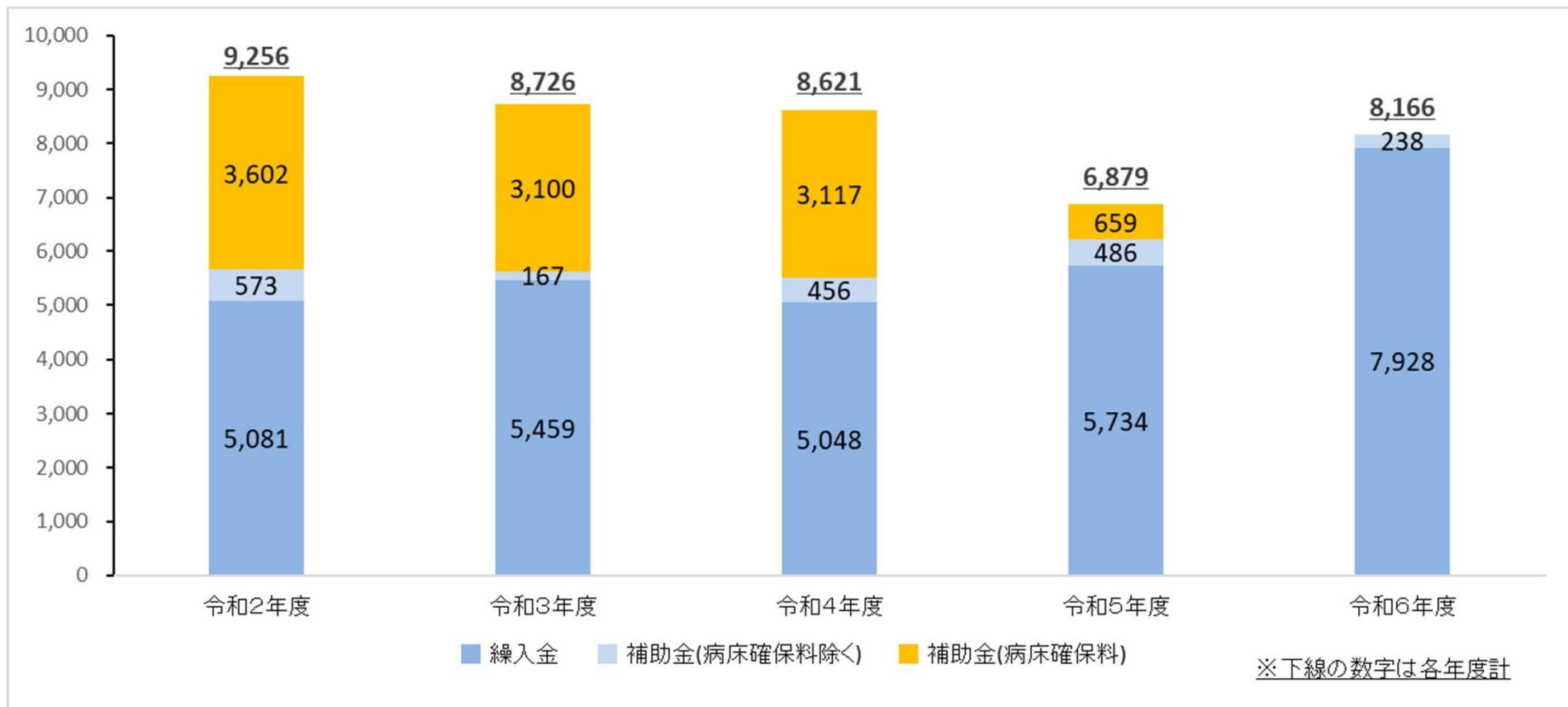
I 令和6年度県立病院事業会計決算状況

4 一般会計負担金の推移

一般会計負担金は、81億6,600万円（対前年度 + 12億8,700万円）

- ・ 病床確保料は令和5年度で廃止
- ・ 給与改定や物価高騰に伴う補正予算等により繰入金は21億9,400万円の増

(単位：百万円)

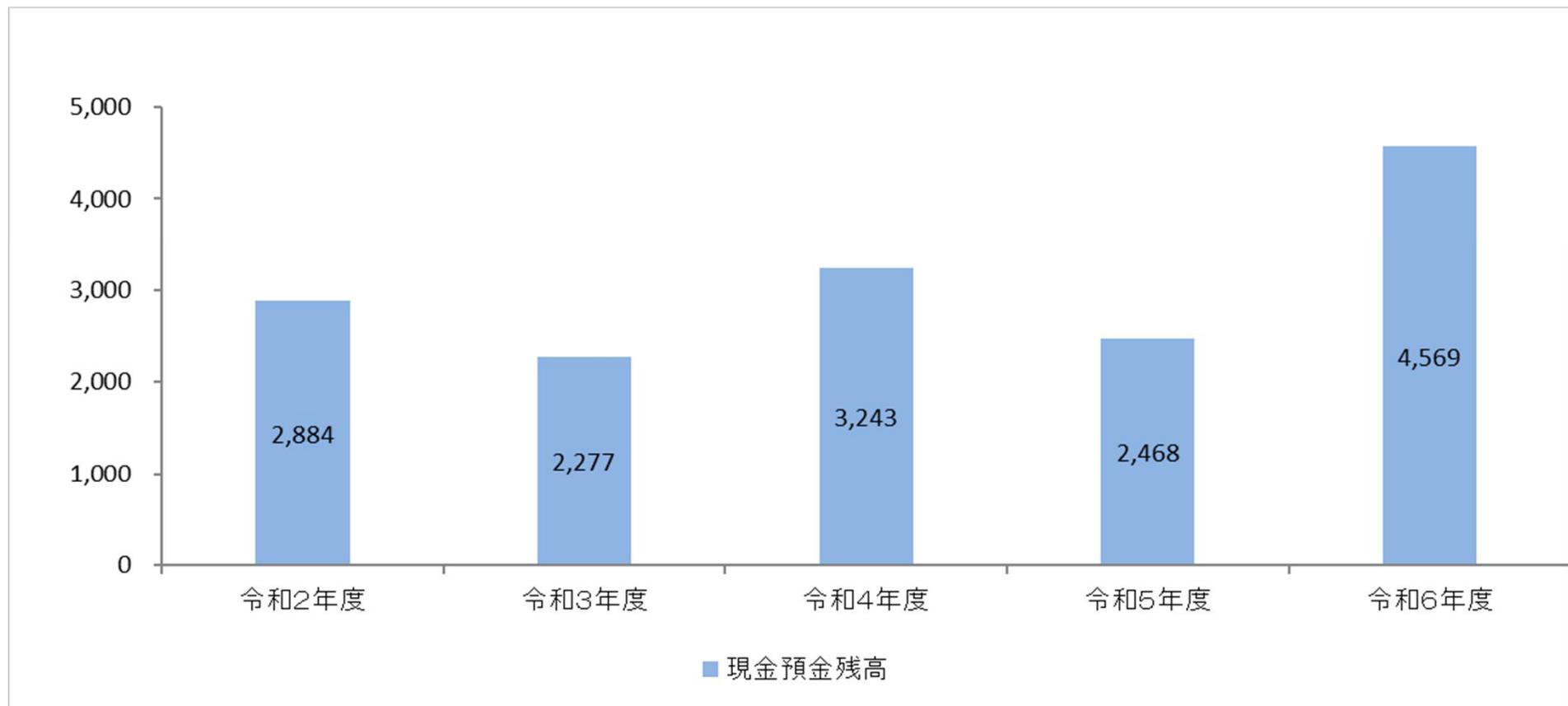


I 令和6年度県立病院事業会計決算状況

5 現金預金残高の推移

貸借対照表上の現金預金残高から、年度内に支払いが完了しなかった一部未払金を除いた
実質的な運転資金は、45億6,900万円（対前年度+21億97万円）

(単位：百万円)



II 令和6年度病院別決算状況

1 宮崎病院

県立宮崎病院

純損益は、8億1,609万円の赤字（4年連続）

- ・ 旧宮崎病院の解体に伴う特別損失等がなくなり、純損益は改善
- ・ 償却前損益は7億8,021万円の黒字（対前年度4億2,469万円増加）

(単位：千円、%)

区分	6年度	5年度	増減	増減率	説明
病院事業収益	19,993,417	18,773,437	1,219,981	6.5	<p>【入院収益】 患者数、単価の増により増加 【外来収益】 患者数が減少したものの、単価の増により増加</p>
	10,758,275	10,590,053	168,222	1.6	
	5,004,727	4,622,709	382,018	8.3	
	2,912,645	1,915,888	996,757	52.0	
	(病床確保料)	0	279,049	△ 279,049	
	皆減				
	長期前受金戻入	988,424	1,056,986	△ 68,562	
	△ 6.5				
その他収益	329,346	381,820	△ 52,474	△ 13.7	
特別利益	0	205,980	△ 205,980	皆減	
病院事業費用	20,809,505	21,803,202	△ 993,697	△ 4.6	<p><3病院共通></p> <p>【給与費】 給与改定等により増加 【材料費】 高額医薬品の新規採用や使用増等により増加 【経費】 システム、医療機器等の保守委託費増による増加</p>
	9,165,114	8,573,231	591,883	6.9	
	5,391,169	5,073,817	317,352	6.3	
	2,686,292	2,557,359	128,933	5.0	
	2,348,410	2,504,055	△ 155,645	△ 6.2	
	その他費用	1,134,456	84,065	7.4	
	0	1,960,284	△ 1,960,284	皆減	
当年度純損益	△ 816,088	△ 3,029,765	2,213,677	-	
(経常損益)	△ 816,088	△ 1,275,461	459,373	-	
(経常損益) ※病床確保料除く	△ 816,088	△ 1,554,510	738,422	-	
(償却前損益)	780,207	355,522	424,686	-	
資本的収支	△ 1,129,502	△ 1,222,463	92,961	-	
資金収支	△ 349,295	△ 866,942	517,647	-	

II 令和6年度病院別決算状況

- ・ 入院は、延患者数が増加、患者一人一日当たりの収益が増加
- ・ 外来は、延患者数が減少、患者一人一日当たりの収益が増加

区分		6年度	5年度	増減	増減率(%)	元年度(参考)
入院	延患者数 (人)	138,461	136,410	2,051	1.5	144,958
	新規患者数 (人)	11,334	10,785	549	5.1	11,158
	一日平均患者数 (人)	379	373	6	1.6	396
	患者一人一日当たり入院収益 (円)	77,699	77,634	65	0.1	61,252
	稼働病床利用率 (%)	76.9	75.6	1.3	-	74.0
	平均在院日数 (日)	11.2	11.7	△ 0.5	△ 4.3	12.0
外来	延患者数 (人)	154,170	155,904	△ 1,734	△ 1.1	169,131
	新規患者数 (人)	15,922	16,541	△ 619	△ 3.7	21,378
	一日平均患者数 (人)	634	642	△ 8	△ 1.2	705
	患者一人一日当たり外来収益 (円)	32,462	29,651	2,811	9.5	21,546

II 令和6年度病院別決算状況

2 延岡病院

県立延岡病院

純損益は、1,499万円の赤字（2年連続）

- ・ 償却前損益は3億5,824万円の黒字（対前年度2億9,180万円増加）

(単位：千円、%)

区分	6年度	5年度	増減	増減率	説明
病院事業収益	14,507,409	13,195,400	1,312,009	9.9	
入院収益	9,021,498	8,556,356	465,142	5.4	
外来収益	2,948,972	2,651,242	297,730	11.2	
一般会計繰入金 (病床確保料)	1,776,243 0	1,292,444 241,037	483,798 △ 241,037	37.4 皆減	【入院収益】 単価が減少したものの、患者数の増により増加 【外来収益】 患者数、単価の増により増加
長期前受金戻入	636,749	566,247	70,502	12.5	
その他収益	123,947	129,111	△ 5,165	△ 4.0	
特別利益	0	0	0	—	
病院事業費用	14,522,399	13,514,242	1,008,157	7.5	<3病院共通>
給与費	6,410,824	5,981,154	429,670	7.2	【給与費】 給与改定等により増加
材料費	4,241,173	3,775,988	465,184	12.3	【材料費】 高額医薬品の新規採用や使用増等により増加
経費	2,093,481	2,017,363	76,118	3.8	【経費】 システム、医療機器等の保守委託費増による増加
減価償却費	940,419	894,026	46,392	5.2	
その他費用	836,502	845,710	△ 9,208	△ 1.1	
特別損失	0	0	0	—	
当年度純損益	△ 14,990	△ 318,842	303,852	—	
(経常損益)	△ 14,990	△ 318,842	303,852	—	
(経常損益) ※病床確保料除く	△ 14,990	△ 559,879	544,889	—	
(償却前損益)	358,239	66,444	291,795	—	
資本的収支	△ 597,743	△ 735,305	137,562	—	
資金収支	△ 239,504	△ 668,861	429,357	—	

II 令和6年度病院別決算状況

- ・ 入院は、延患者数が増加、患者一人一日当たりの収益が減少
- ・ 外来は、延患者数が増加、患者一人一日当たりの収益が増加

区分		6年度	5年度	増減	増減率(%)
入院	延患者数 (人)	105,102	94,537	10,565	11.2
	新規患者数 (人)	8,173	7,791	382	4.9
	一日平均患者数 (人)	288	258	30	11.6
	患者一人一日当たり入院収益 (円)	85,836	90,508	△ 4,672	△ 5.2
	稼働病床利用率 (%)	74.2	66.6	7.6	-
	平均在院日数 (日)	11.9	11.1	0.8	7.2
外来	延患者数 (人)	107,605	101,297	6,308	6.2
	新規患者数 (人)	11,760	11,263	497	4.4
	一日平均患者数 (人)	443	417	26	6.2
	患者一人一日当たり外来収益 (円)	27,406	26,173	1,233	4.7

II 令和6年度病院別決算状況

3 日南病院

県立日南病院

純損益は、11億3,046万円の赤字（3年連続）

- ・ 償却前損益は9億838万円の赤字（対前年度2億3,621万円減少）

(単位：千円、%)

区分	6年度	5年度	増減	増減率	説明
病院事業収益	6,141,185	6,190,540	△ 49,355	△ 0.8	【入院収益】 単価が増加したものの、患者数の減により減少 【外来収益】 単価が増加したものの、患者数の減により減少
入院収益	3,624,145	3,751,554	△ 127,409	△ 3.4	
外来収益	1,203,619	1,207,677	△ 4,059	△ 0.3	
一般会計繰入金	865,047	762,452	102,595	13.5	
(病床確保料)	0	138,981	△ 138,981	皆減	
長期前受金戻入	372,803	352,780	20,023	5.7	
その他収益	75,571	116,076	△ 40,505	△ 34.9	
特別利益	0	0	0	—	
病院事業費用	7,271,640	7,125,775	145,865	2.0	<3病院共通>
給与費	3,836,314	3,671,425	164,889	4.5	【給与費】 給与改定等により増加
材料費	1,202,745	1,186,954	15,791	1.3	【材料費】 高額医薬品の新規採用や使用増等により増加
経費	1,308,649	1,286,700	21,949	1.7	【経費】 システム、医療機器等の保守委託費増による増加
減価償却費	556,038	575,591	△ 19,552	△ 3.4	
その他費用	367,894	405,106	△ 37,212	△ 9.2	
特別損失	0	0	0	—	
当年度純損益	△ 1,130,455	△ 935,235	△ 195,220	—	
(経常損益)	△ 1,130,455	△ 935,235	△ 195,220	—	
(経常損益) ※病床確保料除く	△ 1,130,455	△ 1,074,216	△ 56,239	—	
(償却前損益)	△ 908,383	△ 672,176	△ 236,207	—	
資本的収支	4,587,344	△ 544,699	5,132,043	—	
資金収支	3,678,960	△ 1,216,875	4,895,836	—	

II 令和6年度病院別決算状況

- ・ 入院は、延患者数が減少、患者一人一日当たりの収益が増加
- ・ 外来は、延患者数が減少、患者一人一日当たりの収益が増加

区分		6年度	5年度	増減	増減率(%)
入院	延患者数 (人)	62,511	66,705	△ 4,194	△ 6.3
	新規患者数 (人)	4,185	4,245	△ 60	△ 1.4
	一日平均患者数 (人)	171	182	△ 11	△ 6.0
	患者一人一日当たり入院収益 (円)	57,976	56,241	1,735	3.1
	稼働病床利用率 (%)	64.9	64.9	0.0	—
	平均在院日数 (日)	13.9	14.8	△ 0.9	△ 6.1
外来	延患者数 (人)	77,026	83,506	△ 6,480	△ 7.8
	新規患者数 (人)	6,189	7,061	△ 872	△ 12.3
	一日平均患者数 (人)	317	344	△ 27	△ 7.8
	患者一人一日当たり外来収益 (円)	15,626	14,462	1,164	8.0

III 県立病院の経営改善に向けた取組状況について

1 収益の確保

- 外部コンサルタントを活用した診療報酬制度（DPC制度）への適切な対応

令和6年度 コンサル実施回数 35回（宮崎：10回、延岡：11回、日南：14回）

★令和7年6月から適用される機能評価係数Ⅱ※（令和5年10月～令和6年9月実績）において

延岡病院が2年連続「全国1位」（DPC標準病院群1,501病院中）

宮崎病院：32位（前年度61位）、**日南病院：114位**（前年度198位）

※機能評価係数Ⅱ：在院日数短縮の努力や医療資源投入量、地域医療を担う体制の充実度など診療実績や医療の質向上への貢献度を評価する係数（＝DPC病院の通知表）

令和6年度入院・外来収益見込額 対前年度 11億8,165万円増（3.8%増）

※令和6年度診療報酬改定率：0.88%（本体）

宮崎病院：5億5,024万円増（3.6%増）

延岡病院：7億6,287万円増（6.8%増）

日南病院：1億3,147万円減（2.7%減）※主に患者数の減少によるもの

- 抗がん薬混合調製ロボットの導入：宮崎・延岡病院（令和7年度実施）

⇒ 薬剤師病棟業務の充実、DPC係数の向上

2 費用の節減・見直し

令和6年度効果見込額 2億4,725万円

- 医薬品等の共同購入や専門家を活用した価格交渉による費用節減 1億 414万円
- 宮崎大学と連携したSPD（物流管理業務）活用による診療材料費削減 1億2,387万円
- 医療機器等の共同調達による費用削減 1,924万円
- 宮崎・日南病院で原価計算システム運用開始 ※延岡病院は令和5年度に導入済
- 臨床検査の外部委託の見直し（令和7年度実施）

III 県立病院の経営改善に向けた取組状況について

3 各病院の取組

(1) 宮崎病院

- がん医療機能の高度化（IMRT（高度な放射線治療）の導入 等)
 - ・令和6年10月：新たな放射線治療医の配置
 - ・令和7年3月：IMRT機器設置（令和7年7月治療開始）
- 高度な最先端医療の提供
 - ・ダ・ヴィンチ手術実績：令和6年度：122件（対前年度 + 3件）



(2) 延岡病院

- ハイブリッド手術室の運用
 - ・令和6年4月 本格運用開始
 - ・手術・検査件数（心臓カテーテル等）：令和6年度：145件
- 外来化学療法提供体制の充実
 - ・外来化学療法延べ件数：令和6年度：3,463件（対前年度 + 34件）



(3) 日南病院

- 病院機能最適化、病棟再編
 - ・稼働病床数：281床 ⇒ 229床（令和6年12月1日付け 52床削減）
 - ・病床利用率：58.8%（令和6年11月）⇒ 76.4%（令和6年12月～令和7年3月 平均）
- 公立病院等との機能分化
 - ・日南市長・串間市長を訪問の上、今後の連携強化を依頼
(日南市訪問：令和6年7月31日、串間市訪問：令和6年8月26日)
 - ・次期地域医療構想を見据えた公立病院のあり方に関する研修会を開催